

◆ 『ゆとりと活力、そして調和のとれた「幸田」のまちづくり』 ◆

さこう弘康

町政レポート



2015年 7月 No.33

発行：さこう弘康 後援会

〒444-0193 額田郡幸田町大字芦谷字丸山5 TEL 0564-56-7727 FAX 0564-56-7918

4月21日に告示された幸田町議会議員選挙で、当選をさせていただきました。無投票選挙となり、多くの皆さまからのご支援と、8年間のガンバリを「票」という形で表すことができなりました。3度目の議席をいただいたという責任の重さを感じ、与えられた役目をしっかりと果たしてまいりたいと思います。

特に、2025年まで人口増加が続く、幸田町の社会基盤の整備として、教育施設、子育て支援、福祉施策の充実や防犯対策、防災・減災対策、さらなる産業振興などの実現をめざし、汗を流してまいります。

今後とも、温かいご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

平成二十七年七月

ご挨拶



幸田町議会議員 酒向弘康

議会報告 臨時会 二新議会人事二

幸田町議会議員選挙改選後、初の臨時会が5月12日に開催され、新たな議会構成が決まりました。

私は「議会広報特別委員会委員長」と「総務教育常任委員会副委員長」の任に着きました。職務を全うするため誠心誠意努力してまいります。



議会報告 6月定例会 二あらし二



平成27年6月定例会は、6月8日に招集され6月26日までの19日間の会期で開催されました。報告案件1件、幸田町立学校設置条例等の一部改正についてなど、単行議案5件、補正予算関係1件の計7件が上程され、いずれも原案通り可決しました。また陳情1件を審議し、不採択としました。

＜議員提出議案＞ 特別委員会設置提案 3議案を提出、全員賛成で可決しました。

- ・ 防災・減災対策特別委員会：自然災害対策に係る事項の調査研究。
- ・ 地方創生特別委員会：地方創生による企業立地に係る事項の調査研究。
- ・ 幸田・三ヶ根駅前整備特別委員会：2駅前周辺の整備に係る事項の調査研究。

6月議会 一般質問に登壇 (6月10日) <質問の要旨>

①「ふるさと納税」で産業の活性化を!

「幸田町の産業」を全国に発信!

Q: 「ふるさと納税」に関わる寄付金額と人数と、ここ数年の傾向は?

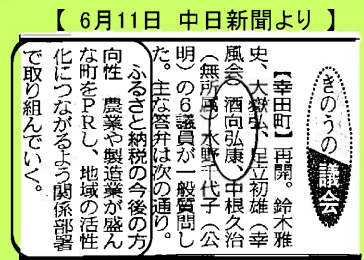
A: 平成26年度は2名の町内の方から200万円。平成23年度以降は町外からの寄付は無い。町内から町外へは、平成26年度、106名の方が700万円を寄付されている。

Q: 寄付者へのお礼の気持ちの表し方と手続き改善の推進状況は?

A: 広報紙とパンプをお礼に送る準備し、またインターネット申請を可能にしたが、ともに実績はない。

Q: 6月から、西尾市が「うなぎ、えびせんべい、抹茶」をお礼品として、スタートした。「ものづくりの町 こうた」として、工業製品(自動車部品、ウォシュレット・健康マットレス・カメラなど)、農産物(筆柿、なす、いちごなど)と焼酎など、全国に向け情報発信をし、地域経済と町全体の活性化の「キッカケづくり」に繋がる「ふるさと納税制度の活用」の考えは。

A: 町長: 制度を最大限に活用し、早急にスタートできるよう検討する。



②「防災・減災強化」を提案!

南海トラフ地震死者予測数
幸田町: 60人→0人を目指して!

=シェイクアウト訓練=



Q: 町内には、「避難場所が 61ヶ所」と「避難所が 71ヶ所」されているが、避難場所と避難所の違いに対する住民への周知は?

A: 「避難場所」は、危険から逃れる場所。「避難所」は、避難した住民が、危険が無くなるまで滞在するところ。法改正に沿って、ホームページや広報で周知を図ります。

Q: 私が提唱してきた「シェイクアウト訓練」と「ボランティア支援本部設置訓練」が、町総合防災訓練で取り入れられた。この成果は?

A: 自らの命を守る基本動作と防災の意識づけができ、ボランティアの方々も実践で知識向上に繋がった。

Q: 「安全安心の町 幸田町」も行政、住民、事業者も一丸となって、巨大地震や災害に果敢に立ち向かうため「防災基本条例」の制定をすべきだ。

A: 町長: 県と調整をしながら研究をしていきたい。

わかりますか?
「避難場所」と「避難所」の違い
『日ごろから家族で話し合いを!』



※皆さんの「生の声」を届け、答弁を引出しました!

声: 『ゲリラ豪雨の時など、アンダーパス道路の増水状況の映像公開を!』

Q: 幸田駅南の仲田、錦田、相見駅南ガードなど、3つのアンダーパスの増水状況を誰でも見やすい、WebカメラとHPをリンクさせたり、ケーブルテレビで放映するなど、住民にもリアルタイムで情報を届ける考えは?

A: 今年度中に、ケーブルテレビでリアルタイム画像を放映する計画で進めている。

声: 幸田町も 『119番メール通報を可能にして下さい!』



Q: 耳の不自由な人から『幸田町では、119番通報ができません。近隣では、あらかじめ登録しておけばメールで対応してくれます』町内在住者、通勤者も使える「119番通報メール」対応可能にすべきだ。考えは。

A: 今年度中には使えるように進めます。

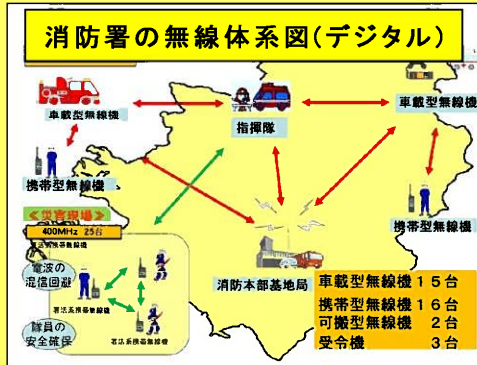
6月定例会

～主な議案～

消防救急無線のデジタル化整備工事・・・1億2,420万円で落札（落札率:81.4%）

【事業の目的】

- ・消防救急無線については、電波法の変更により平成28年5月31日までにアナログ方式からデジタル方式に移行する必要があるため。



【デジタル化により期待される効果】

- ・ 秘匿性が高まり、個人情報保護を強化と画像情報等の多様なデータを活用できる。
- ・ 大規模災害時等における通信渋滞の回避を図れる。

～ 一般会計 補正予算関係 ～

総務費：庁舎 太陽光発電設備設置工事費 4,550万円
 消防費：消防庁舎 太陽光発電設備設置工事費 3,900万円



目的：「災害時防災拠点」として、役場庁舎と消防庁舎に太陽光発電設備を設置する。

使用：昼間は、太陽光で発電した電気を使い、夜は昼間に蓄電した電気を使う。



運用：非常用照明は、LEDを使用する。



酒向 提言：『携帯電話機の充電機器や装置の設置を!』



幸田町 ごみ部門で「三冠王」!

リサイクル率は2位

平成25年度のごみの指標が、愛知県から発表がありました。幸田町は、ごみ部門ランキングの3部門で1位を獲得し「三冠王」を達成しました。

項目 順位	ごみの総排出量 1人1日当たりのごみの量	ごみ総排出量から 資源ごみを引いた量	埋め立てごみの量 1人当たりの最終処分量
1位	幸田町 703 (g/人・日)	幸田町 506 (g/人・日)	幸田町 10.6 (kg/人・年)
2位	あま市 705 (g/人・日)	岩倉市 568 (g/人・日)	東海市 12.4 (kg/人・年)
3位	大治町 730 (g/人・日)	江南市 570 (g/人・日)	春日井市 19.3 (kg/人・年)
県平均	940 (g/人・日)	762 (g/人・日)	26.8 (kg/人・年)



幸田町のごみ袋は「県下で2番目に高い」状況ですが、住民パワーで「ごみ減量」を実現しています。ごみを多く出すことは、結果・・・皆さんの納めた「税金のムダ使い」となります。
 ※ 45円/1袋のごみを焼却するコストは、約150円必要で100円強の税金が投入されます。

「引き続き、住民目線で行政の取り組みのチェックに努めます！」

＝トピックス＝

プレミアム付商品券は、7月1日から使えます！

【Q&A・・・わかりやすく解説】

Q:「どういう目的で、発行されるの?」

A: 国の地域活性化・地域住民生活緊急支援交付金を活用して地域経済の活性化が目的です。

Q:「応募数は、全部でどれだけあったの?」

A: 4,469通あり。うち抽選で、3,722通の83.3%が当選しました。

Q:「いつから、いつまで使えるの?」

A: 7月1日～12月末日までです。お忘れのないように!

Q:「商品券は、どこのお店でも使えるの?」

A: 町内の商工会加盟店です。(詳しくは町ホームページをご覧ください)



「活動報告」



毎月、デンソーの各製作所で開催される、地区別連絡会で、職場役員さんたちに議会報告・議員活動報告、懇談会をさせていただいています。



6月の中電労組の定時大会が開催され統一地方選挙結果の報告と日ごろのご支援に対するお礼と挨拶をさせていただきました。

「くらしの相談室」

【最近の改善事例紹介】

=ご意見= 『ガード下が雨のたびに水が道路にあふれ、泥がたまり通行に支障があります。また、悪臭も発生し、環境面も悪い状況です。なんとかして下さい。』



=対策= 農道わきにたまった泥と雑草の除去、また水路の流れの改善を実施しました。

相談者より = 『交通安全面もよくなり、蚊の発生も、嫌なおいもなくなりました。素早い対応をしていただき、ありがとうございました。』

地域での困りごと、町政に対する ご意見・ご要望等、お気軽に「さこう弘康 暮らしの相談室」をご利用ください。

連絡先(事務所) Tel: 0564-56-7727 Fax: 0564-56-7918

「お気軽に!」



ホームページは「さこう弘康」で検索してください。

さこう弘康

検索

メールからでもどうぞ!



※お願い：町政レポート配布するにあたり、氏名や住所の間違い、変更がありましたら上記までご連絡ください。